稲穂

小樽市立稲穂小学校
学校だより　No.９
令和　５年１２月　４日
文責　校長　遠藤　隆典

【学校の教育目標】
りこうで
たっしゃで
ほがらかな
稲穂の子

稲穂小 WEB

子どもが主語の授業を目指した校内研修の取組

校長　遠藤　隆典

約4ヶ月の2学期が終盤を迎えました。地域・保護者の皆さま、そして、全職員が「あたたかいチーム」となり、落ち着いた学校風土をつくりあげることができています。感謝申し上げます。落ち着いた学校生活の中で、子どもたちは目標へ向けたがんばりを重ね、成長につなげてきています。学期末、よいふり返りを行い、一人一人が自分を高めていけるようにしていきたいと考えています。

学校生活において、授業は資質・能力を育てる重要な時間なのは言うまでもありません。本校は、「子どもが主語の授業」づくりを大切にし、目指す授業について実践研修を重ねてきました。また、子どもが自分ごととして学習に向かうためには特別支援教育の視点が不可欠と考え、授業づくりを見直す研修にも全職員でチャレンジしてきました。そして、この秋、全学年学級で授業検討と研究授業に取り組み、11月24日には市内公開研究会を開催し、3年1組柴田学級と6年2組加能学級が算数の研究授業を公開しました。子どもたちの力を育む授業実践を全校で重ねられ、実り多き2学期後半でした。

取組を振り返ると、問題場面の工夫や授業展開に何日も悩み、どうすべきかと皆で壁にぶつかったこともありました。しかし、前向きに協議し合う教職員の姿勢は、日々の各自の授業改善につながり、指導の充実につながっていたと確信しています。結果として、子どもたちが真剣に自分ごととして活動に向かう姿、自分なりにタブレットやノートで考え、学級の仲間と協働して考えや表現を深めている姿など授業へ集中する様子が学校全体で高まりました。一人一人の学びの深まり、資質・能力の育成につながっていると感じています。授業を変えよう、学びの質を高めようとする先生方の姿勢、自慢のチーム力が表れた姿でした。

子どもたちに、複雑で変化の激しい未来社会において創造的にたくましく生きていく確かな力を身につけさせていくことは学校教育の重要なミッションです。授業で育む資質・能力がその土台となるという事を自覚し、これからも、皆で前向きに研鑽し合うチームとなって、目指す授業づくりを目指していきます。

2学期のラストスパートです。子どもたちが先生と共に高めた力を生かし、素晴らしい学びの姿を発揮することを期待しています。

★保護者の皆様には、子どもが持ち帰ったタブレットで教科等での学習の記録を見てあげていただければと思います。子どもが主語の学びでは、タブレット端末が不可欠な学習道具となり、頑張りがのこされています。ぜひ見せてもらって下さい。

小中の児童会生徒会役員でいじめ防止サミットを開催！

11 月は小樽市いじめ防止強化月間です。２回目のいじめアンケートを全学年で実施し、いじめ事案を積極的に認知しています。今まで、のべ 40 件をいじめ事案として認知しました。一つ一つ面談を行い、状況の確認等を行い嫌な思いの解消、いじめ防止、全員が安心・安全に通える学校となるよう努力しています。28 日には、西陵中生徒会と共に小中の児童会でいじめ防止サミットを行いました。ポスターづくりやいじめ０をよびかける活動を連携して取り組むことになりました。いじめのない学校へ向け、積極的に意見交流し、真剣に考える児童生徒のやる気がとても素晴らしかったです。

【幼保小連携の取組】近隣の幼稚園・保育園の皆さんが学校見学に来ました！

10 月･11 月に、近隣の幼稚園･保育園の園児が、学校見学に来ました。来春、市内の小学校に入学する年長さんが来ました。幼稚園･保育園から小学校へスムーズに入学していき学校生活にとまどいなく進んでいけることをねらいとした取組です。

韮澤教頭が、色々な教室や体育館を案内しましたが、話をしっかり聞き、やくそくを守る姿、そして、きちんと挨拶する姿が大変立派でした。1年生教室では、授業の様子を真剣に見ていた園児の皆さんの姿が印象的でした。4 ヵ月後、元気いっぱいに入学してくるのを楽しみにしています！

チャレンジして、自分の力を輝かせよう！

自分のやりたいことに自ら挑戦する心と力を高めることは、今年の稲穂小の教育活動での大きな柱になっています。

■小樽市音読カップには、多くの児童が校内予選に出場しました。予選会ではそれぞれが真剣に音読していて、やる気が伝わってきてうれしく感じました。市民会館での本選へ学校代表として出場した 4 名も、予選会よりさらに音読に磨きをかけ全員が素晴らしい発表をしていました。中学年の部で 3 年生の石川桃さん、高学年の部で北出梨紗さんが奨励賞を受賞しました。うれしい入賞です！来年も多くの児童がエントリーすることを願っています。

■チャレンジ 2023 企画第８弾「ホールパフォーマンス」では、たくさんの児童がエントリーし、しらかばホールで自分なりのパフォーマンスを行いました。音読やピアノ、ダンス、空手の演舞やタブレットでのタイピングを披露する児童もいました。一生懸命パフォーマンスする姿からは、授業中とはひと味違うたのもしさとエネルギーを感じました。ホールに集まった子どもたちは、穏やかな雰囲気で見守り大きな拍手を送っていました。あたたかい学校の一体感を感じる場面でした。

子どもがチャレンジする場面では、子どもが真剣に生き生きと力を輝かせています。これからもチャレンジ精神あふれる学校になるよう様々な機会を創っていきます！

ALT ロバート先生とコミュニケーション！

３・４年外国語活動、５・６年外国語の学習に市内中学校で英語を教えている小樽市教育委員会の ALT ロバート先生が来て、子どもたちは、学習を生かして英語でコミュニケーションという貴重な学びを経験しました。いくつかの紙の中から自分のほしいものを伝える、相手の好きなことについて質問する、調べたことについて説明するなど、ロバート先生と英語でのコミュニケーションに取り組みました。自信をもって堂々と伝える子ども、難しさ・恥ずかしさを感じながらも必死で説明しようとする子どもなど、様々でしたが、みんな英語指導の石山先生にサポートされながらしっかり乗り越えていました。

会話後は、全員が充実感あふれる表情をしていました。学習したことを実際に使うことで確かな学びになると実感したことでしょう。次に ALT の先生が来たときには、さらに意欲的にコミュニケーションしていく子どもたちの姿が楽しみです。